PDF Merge ユーザー ガイド

目次

概要 1

PDF Merge ツールバーを表示する 2
PDF Merge ツールバー. 3

PDF ファイルのマージ. 4

マージ結果の修正 14
2 つのレイヤーを同時に表示する. 20
オブジェクトの選択 23
トラップの取得および破棄に関する注意 27

マージ結果の保存 28

情報およびエラー メッセージについて. 32
情報メッセージ. 33
最初のマージのエラー メッセージ. 34
マージ プロセス完了後のエラー メッセージ 39

索引 42

731-00446A-JA 改訂 A

概要

PDF Merge は、Adobe® Acrobat® 用の Creo プラグインで、2 つの PDF ファイルを比較し、一方のファイルのオブジェクトをもう一方のファイルに追加するためのものです。たとえば、受け取った PDF ファイルにトラップを設定したとします。その後、修正されたファイルを受け取り、このファイルにもトラップを行う必要があるとします。ただし、元の PDF と修正後の PDF との間で変更されていないオブジェクトを再度トラップするのは効率的ではありません。このような場合に、PDF Merge を使用して、バージョン間で変更されたオブジェクトと、変更されていないオブジェクトを識別し、両方のファイルに共通のオブジェクトに設定された元のファイルのトラップすべてを、修正後のファイルの共通オブジェクトに適用できます。

一方のファイルのオブジェクトをもう一方のファイルに適用する必要がある別の状況としては、ロゴなどのオブジェクトを含む PDF ファイルを「テンプレート」として他の PDF ファイルで再利用する場合などがあります。

たとえば、元のファイルと修正後のファイルを比較した場合、PDF Merge は自動的に、元のファイルに固有のオブジェクトとそのトラップ設定をすべて破棄し、両方のファイルに共通または修正後のファイルに固有のオブジェクトとそのトラップ設定のみを保持します。ただし、PDF Merge では、保持したオブジェクトを個別に破棄したり、破棄したオブジェクトを個別に取得することもできます。

PDF Merge で比較できるのは、PDF と PDF の組み合わせのみです。他の形式のファイルは比較できません。また、PDF Merge では、2 つのファイルのメディア ボックスのサイズが同じ場合のみ、比較できます。

PDF Merge ツールバーを表示する

1. Adobe Acrobat を起動します。
2. 次のいずれかの操作を行い、PDF Merge ツールバーを表示します。
   - ［**ツール**］>［**Prinergy PDF Merge**］>［**Prinergy PDF Merge ツールバーを表示**］を順に選択します。
   - ［**表示**］>［**ツールバー**］>［**Prinergy PDF Merge**］を順に選択します。



図 1：PDF Merge ツールバー

3. Adobe Acrobat ウィンドウの上部や左右など、使用しやすい位置にツールバーを移動します。

PDF Merge ツールバー

ツールバーには複数のボタンがあります。各ボタンを使用して、PDF ファイルの比較、破棄したオブジェクトの取得または保存したオブジェクトの破棄、および変更の完了後に最終 PDF ファイルを作成します。



Prinergy PDF Merge



マージした内容の出力



出力レイヤーへ移動



破棄レイヤーへ移動



元に戻す



やり直す



色の選択

各ボタンについては、この後の項目にも記載されています。

PDF ファイルのマージ

1. Adobe Acrobat の［**ファイル**］>［**開く**］メニュー項目で、たとえば修正後の PDF ファイルなど、オブジェクトをマージする先のファイルを開きます。

   PDF Merge を使用可能にするには、少なくとも 1 つの PDF ファイルを開いている必要があります。

2. PDF Merge ツールバーで、［**Prinergy PDF Merge**］をクリックします。

3. ［Creo Merge ドキュメント］ダイアログ ボックスがすぐに表示された場合は、手順 4 に進みます。

   ここで［PDF Merge ライセンス］ダイアログ ボックスが表示された場合、その原因は次のいずれかです。

   - PDF Merge のライセンスが付与されているサーバーが複数あり、どのサーバーのライセンスを使用するかまだ指定していません。

     この場合、［**サーバー**］ボックスに、ライセンスを使用するサーバーの IP アドレスまたは名前を入力するか、一覧からサーバー名を選択します。［**再試行**］をクリックします。

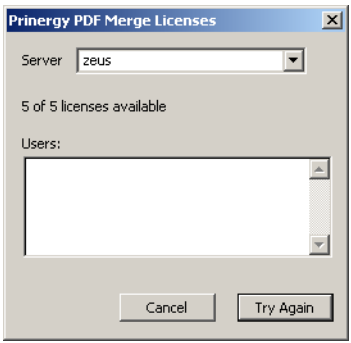


図 2：[Prinergy PDF Merge ライセンス] ダイアログ ボックス

PDF Merge は指定されたサーバーに接続します。PDF Merge を次回起動する際には、このダイアログ ボックスは表示されず、PDF Merge は前のセッションで指定されたサーバーに自動的に接続します。

- サーバーは指定されていますが、そのサーバーのすべてのライセンスが現在使用されています。（使用可能なライセンス数がダイアログ ボックスに表示され、選択されたサーバーのライセンスを使用しているすべてのユーザーが［**ユーザー**］ダイアログ ボックスに一覧表示されます。）

  この場合、選択したサーバーのライセンスが使用できるようになるまで待ち、その後［**再試行**］をクリックしてください。または、PDF Merge のライセンスが付与されているサーバーが複数ある場合は、［**サーバー**］ボックスで別のサーバーを選択し、そのサーバーに使用可能なライセンスがあるかどうかを確認できます。

4. サーバーに接続されると、［Creo Merge ドキュメント］ダイアログ ボックスが表示されます。

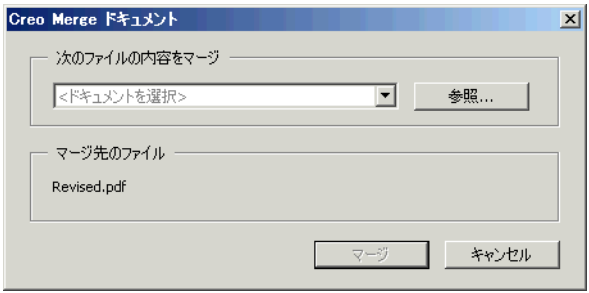


図 3：［Creo Merge ドキュメント］ダイアログ ボックス

開いている PDF ファイル（オブジェクトをマージする先のファイル）が［**マージ先のファイル**］領域に表示されます。

5. ［**次のファイルの内容をマージ**］ボックスで、元の PDF ファイルなど、オブジェクトをマージする元のファイルを指定します。指定するには次のいずれかの方法を使用します。

   - Adobe Acrobat でファイルを 2 つ開いている場合は、もう一方のファイルが自動的に選択されます。
   - その他に Adobe Acrobat でファイルを複数開いている場合、そのファイル名が［**次のファイルの内容をマージ**］一覧に表示され、いずれかを選択できます。
   - Adobe Acrobat で開いているファイルが他にない場合、または開いているファイル以外のファイルを選択する場合は、［**参照**］をクリックして、目的のファイルを探して選択します。

6. ［**マージ**］をクリックします。

   PDF Merge は、マージ結果を .tmp ファイルで表示します。

マージ結果の表示

2 つのファイルを比較してマージする場合、PDF Merge は一時マージ ファイルを作成し、そのファイルを Adobe Acrobat で開きます。

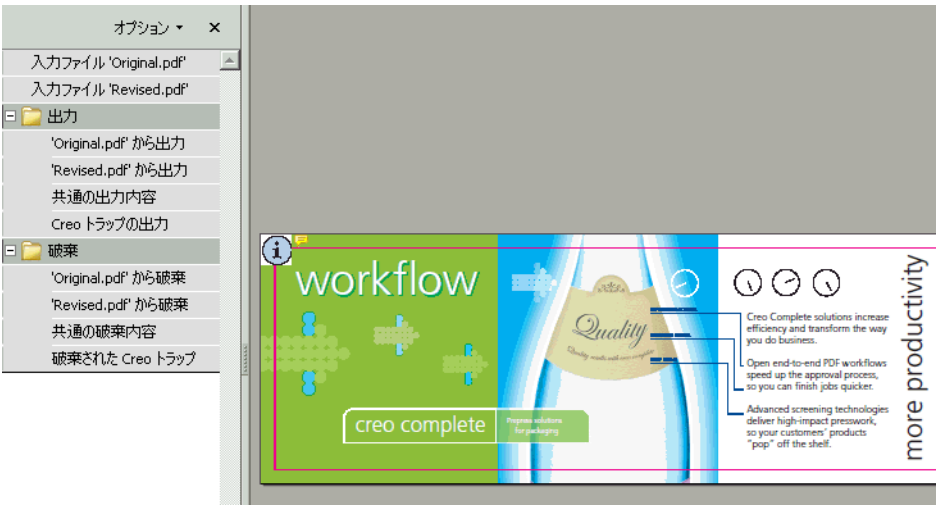


図 4：マージ ファイルの例

デフォルトでは、マージ ファイルには、元の PDF ファイルと修正後の PDF ファイルに共通のオブジェクトすべて、および修正後の PDF ファイルに固有のオブジェクトすべてが含まれます。

固有のオブジェクトとは、1 つのファイルのみに存在するオブジェクト、または両方のファイルに存在するオブジェクトで、位置、カラー、フォント、ストローク幅などが 2 つのファイル間で変更されたオブジェクトのことです。両方のファイルに存在するオブジェクトが変更されている場合、PDF Merge は修正後のファイルのオブジェクトを保持し、元のファイルのオブジェクトを破棄します。

左のウィンドウ枠の［**レイヤー**］タブに、［**出力**］レイヤーとその 4 つのサブレイヤーがあり、最初のマージ ファイルで保持されているオブジェクトが表示されます。

- **<originalfile>.pdf からの出力内容**—元のファイルに固有のオブジェクト。 デフォルトで、PDF Merge は元のファイルに固有のオブジェクトをすべて破棄するため、最初はこのレイヤーは空です。
- **<revisedfile>.pdf からの出力内容**—修正後のファイルに固有のオブジェクト。デフォルトでは、修正後のファイルに固有のオブジェクトをすべて保持します。

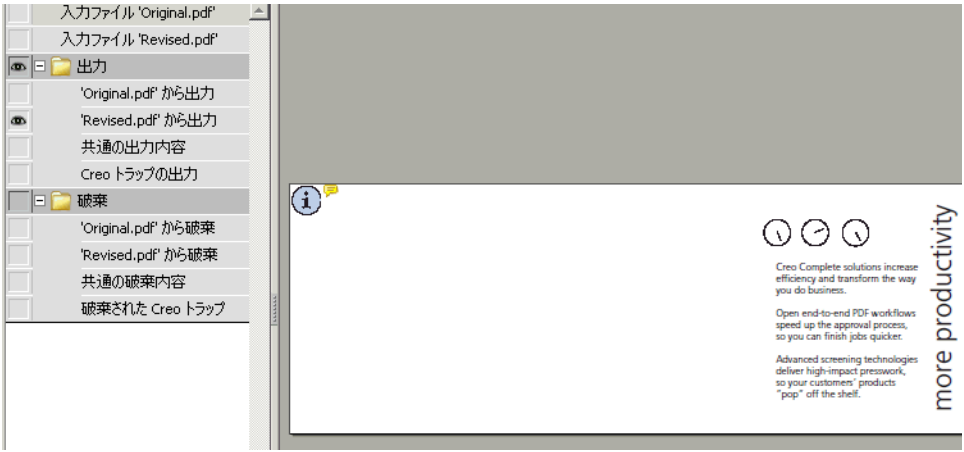


図 5：修正後の PDF ファイルから保持されたオブジェクト

- **共通の出力内容**—元のファイルと修正後のファイルの両方に共通のオブジェクト。

  両方のファイルに共通のオブジェクトに DotShop™ スクリーンが含まれる場合、元のファイルのスクリーンがオブジェクトと共に保持され、修正後のファイルのスクリーンは破棄されます。いずれかのファイルに固有のオブジェクトに DotShop スクリーンが含まれる場合、スクリーンはオブジェクトと共にそのファイルから保持されます。

- **Creo トラップの出力**—両方のファイルに共通のオブジェクトに設定されたトラップ、および修正後のファイルに固有のオブジェクトに設定されたトラップです。両方のファイルに共通のオブジェクトに設定されたトラップについては、元のファイルのトラップが保持されます。

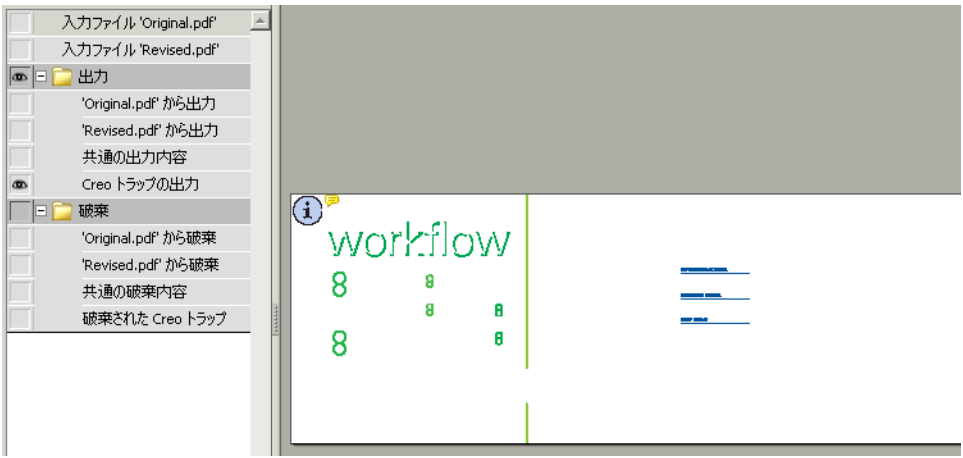


図 6：共通オブジェクト用に保持されたトラップ

［**破棄**］レイヤーとその 4 つのサブレイヤーには、最初のマージで破棄されたオブジェクトが表示されます。

- **'<originalfile>.pdf' から破棄**—元のファイルに固有のオブジェクトです。

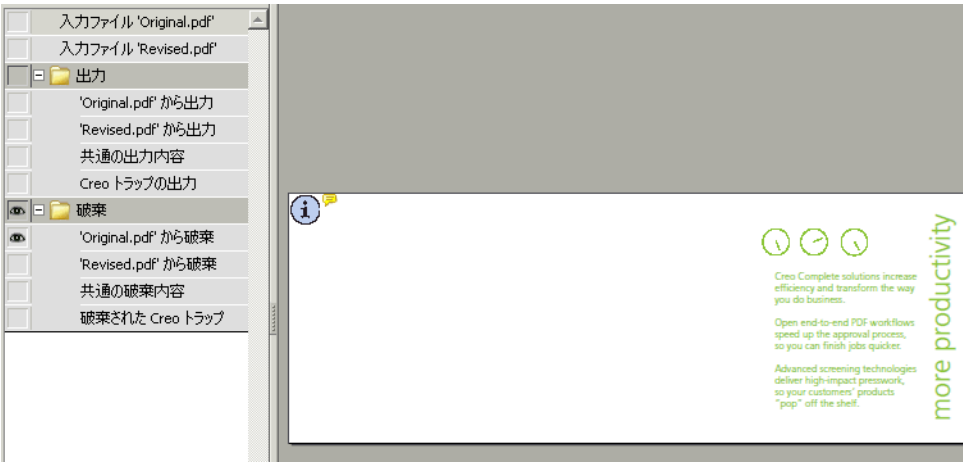


図 7：元の PDF ファイルから破棄されたオブジェクト

- **'<revisedfile>.pdf' から破棄**—修正後のファイルに固有のオブジェクトです。デフォルトでは修正後のファイルのオブジェクトはすべて保持されるため、最初はこのレイヤーは空です。
- **共通の破棄内容**—両方のファイルに共通のオブジェクトです。デフォルトでは両方のファイルに共通のオブジェクトはすべて保持されるため、最初はこのレイヤーは空です。
- **破棄された Creo トラップ**—元のファイルに固有のオブジェクトに設定されたトラップです。すべてのトラップが、両方のファイルに共通のオブジェクトに設定されている場合、トラップは破棄されず、最初は［**破棄された Creo トラップ**］レイヤーは空です。

［**レイヤー**］タブに表示される他の 2 つのメイン レイヤー（［**入力 '<originalfile>.pdf'**］および［**入力 '<revisedfile>.pdf'**］）には、元のファイルおよび修正後のファイルのすべての内容がそれぞれ表示されます。

マージ ファイルを初めて開くと、デフォルトで、［**出力**］レイヤーとそのサブレイヤーのみが表示されます。ただし、各レイヤーの隣にある目のアイコン（）をクリックして、レイヤーの表示／非表示を切り替えることができます。目のアイコンが表示されているレイヤーは表示され、目のアイコンが表示されていないレイヤーは非表示になります。一度に表示できるメイン レイヤー（［**入力 '<originalfile>.pdf'**］、［**入力 '<revisedfile>.pdf'**］、［**出力**］、または［**破棄**］）は 1 つのみです。ただし、［**出力**］レイヤーまたは［**破棄**］レイヤーでは、複数のサブレイヤーを同時に表示できます。



ヒント：名前が太字で表示されているレイヤーには、オブジェクトが含まれています。名前が太字ではないレイヤーは空です。

同名の 2 つのファイルを比較する場合、［**レイヤー**］タブには、2 つのファイルを区別するために、各ファイルの隣に日時が表示されます。



図 8：同名の 2 つのファイルの比較結果

保存および破棄したすべてのオブジェクトの概要を表示するには、マージ ファイルの左上隅にある**情報**アイコンの上にカーソルを置き、ポップアップ ツール ヒントでマージの詳細を表示します。または、このアイコンをクリックすると、ダイアログ ボックスに詳細が表示されます。ダイアログ ボックスは、必要に応じてサイズを変更したり、表示されていない部分をスクロールして表示することができます。（アイコンをクリックして情報を表示するには、あらかじめ Adobe Acrobat の**手のひら**ツールを選択しておく必要があります。）

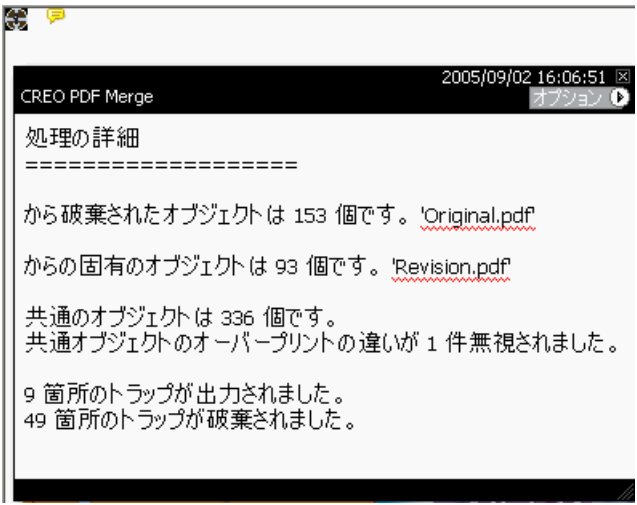


図 9：[処理の詳細\] ダイアログ ボックス

[処理の詳細] ダイアログ ボックスの内容に関する詳細については、32 ページの「情報およびエラー メッセージについて」を参照してください。

マージ結果の修正

マージ結果を修正して、最初は破棄されたオブジェクト（トラップが設定されている場合はそれも含む）を取得したり、最初は保存されたオブジェクトを破棄することができます。

破棄済みオブジェクトを取得するには：

1. 目的の［**破棄**］サブレイヤーで、取得するオブジェクトを選択します。

   注意： オブジェクトを選択するには、ツールバーの［**Prinergy PDF Merge**］ボタンをクリックして、PDF Merge をもう一度アクティブにしておく必要があります。その後、オブジェクトをクリックして選択します。

   オブジェクトを選択する方法はいくつかあります。詳細については、23 ページの「オブジェクトの選択」を参照してください。

   図 10 には、['**<originalfile>.pdf' から破棄**］レイヤーで選択されたオブジェクトを示しています。選択されたオブジェクトは紫色で表示されています。

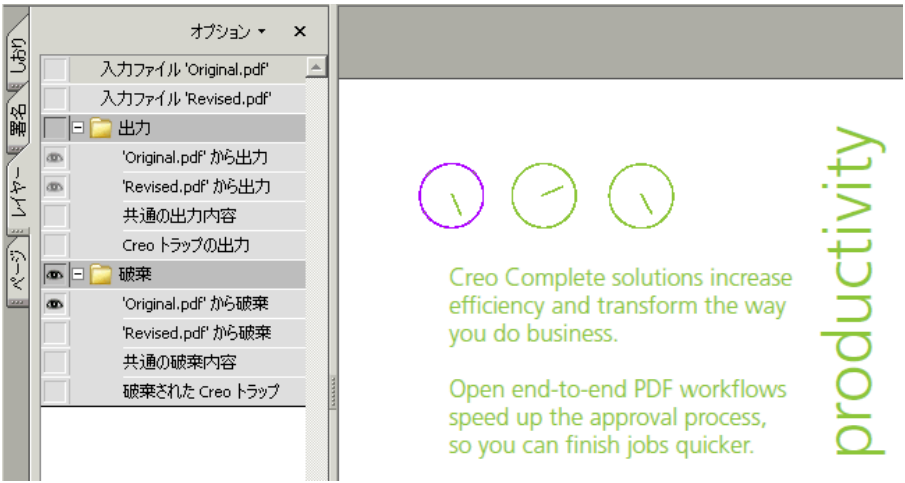


図 10：破棄されたオブジェクトを選択して取得する



ヒント：選択されたオブジェクトは、［**色の選択**］ツールバー ボタンで表示されている色で表示されます。必要に応じて、表示する色を変更することができます。変更するには、［**色の選択**］をクリックし、［カラー］ダイアログ ボックスで色を選択して［**OK**］をクリックします。ツールバー ボタンに新しい色が表示されます。

2. ［**出力レイヤーへ移動**］ツールバー ボタンをクリックするか、オブジェクトを右クリック（Macintosh® の場合は CONTROL キーを押しながらクリック）して、［**出力レイヤーへ移動**］を選択します。

   ［**破棄**］サブレイヤー選択したオブジェクトが消え、対応する［**出力**］サブレイヤーに表示されます。

   たとえば、図 11 および図 12 では、［**'<originalfile>.pdf' から破棄**］サブレイヤーから削除され、［**'<originalfile>.pdf' から出力**］サブレイヤーに取得された、選択済みオブジェクトを示しています。



図 11：［破棄］レイヤーから削除されたオブジェクト

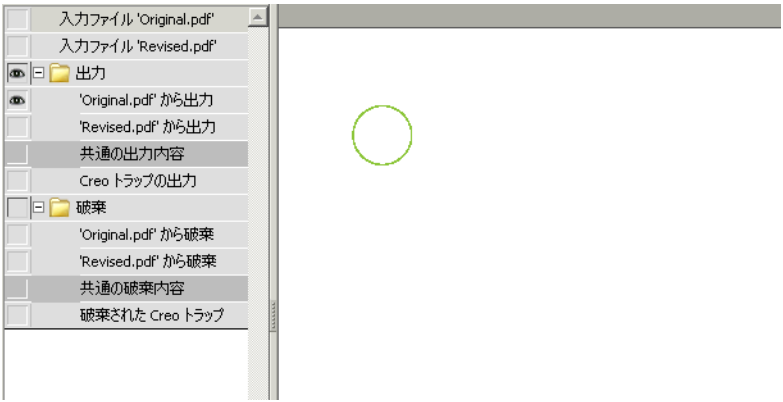


図 12：[出力] レイヤーで取得した破棄済みオブジェクト

保存済みオブジェクトを破棄するには：

1. 目的の［**出力**］レイヤーで、破棄するオブジェクトを選択します。

   注意： オブジェクトを選択するには、ツールバーの［**Prinergy PDF Merge**］ボタンをクリックして、PDF Merge をもう一度アクティブにしておく必要があります。その後、オブジェクトをクリックして選択します。

   オブジェクトを選択する方法はいくつかあります。詳細については、23 ページの「オブジェクトの選択」を参照してください。

   図 13 は、［**共通の出力内容**］サブレイヤーで選択されたオブジェクトを示しています。選択されたオブジェクトは紫色で表示されています。

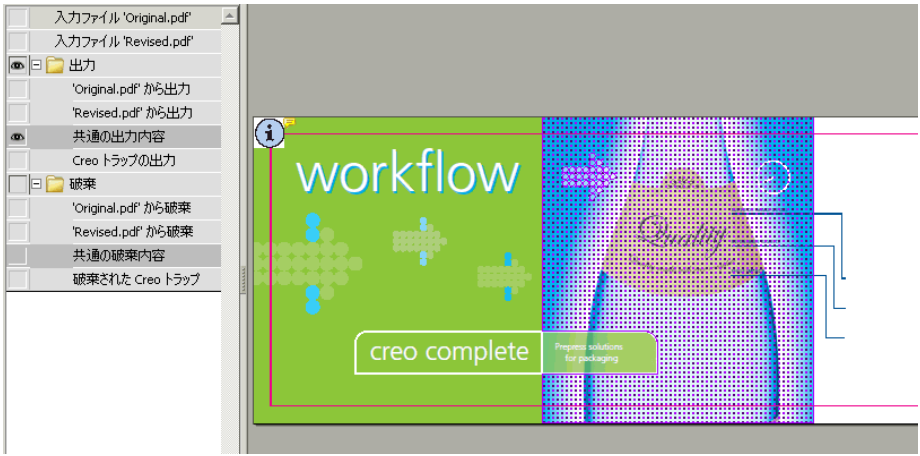


図 13：選択され、破棄される保存済みオブジェクト

2. ［**破棄レイヤーへ移動**］ツールバー ボタンをクリックするか、オブジェクトを右クリック（Macintosh の場合は CONTROL キーを押しながらクリック）して、［**破棄レイヤーへ移動**］を選択します。

   ［**出力**］サブレイヤー選択したオブジェクトが消え、対応する［**破棄**］サブレイヤーに表示されます。

   たとえば、図 14 および図 15 には、［**共通の出力内容**］サブレイヤーから削除され、［**共通の破棄内容**］サブレイヤーから破棄された選択済みオブジェクトが示されています。

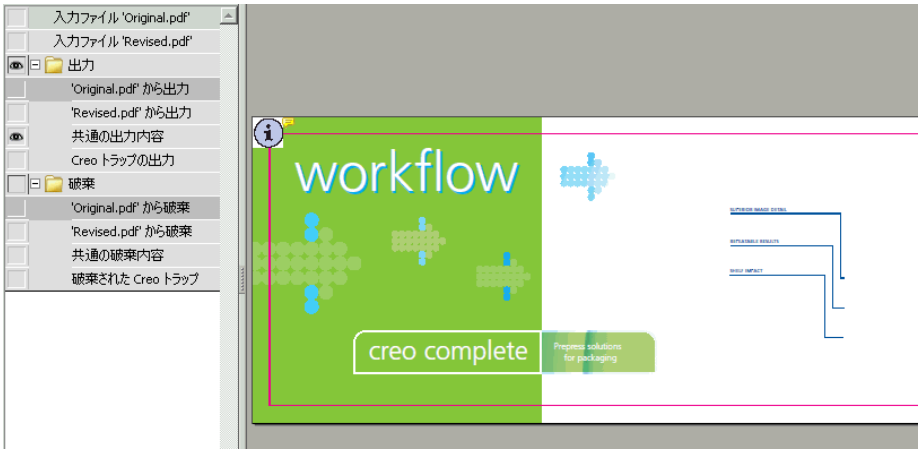


図 14：[出力] レイヤーから削除された保存済みオブジェクト

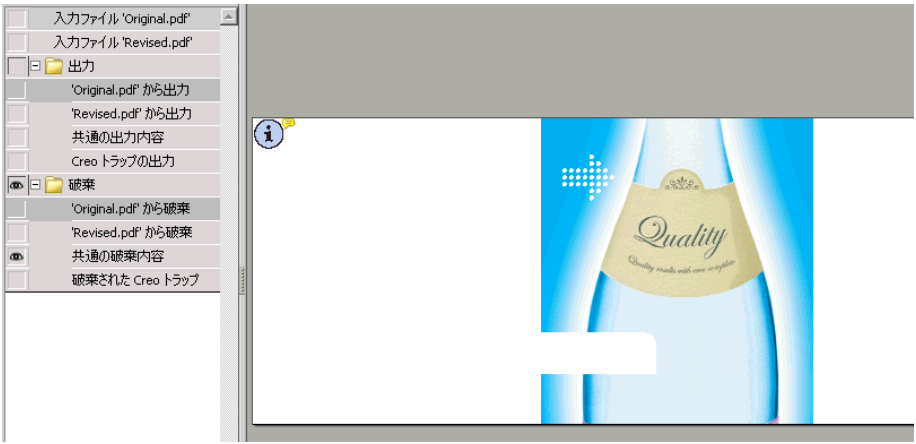


図 15：[破棄] レイヤーから破棄された保存済みオブジェクト

ヒント：[元に戻す] および **[やり直し]** ツールバー ボタンを使用して、行った取得および破棄の変更をやり直すことができます。

2 つのレイヤーを同時に表示する

12 ページ に記述されているように、通常、一度に表示できるメイン レイヤーは 1 つです。ただし、Adobe Acrobat ウィンドウを 2 つの画面に分割することにより、2 つのメイン レイヤーを同時に表示することができます。

分割して表示するには、**[ウィンドウ]** メニューで **[分割]** を選択します。画面をクリックしてアクティブにし、**[レイヤー]** タブで、画面に表示するレイヤーを選択します。

この方法を使用すると、各画面で異なるレイヤーとサブレイヤーの表示／非表示を切り替えることができます。たとえば、一方の画面では［**出力**］レイヤーを表示し、もう一方では［**破棄**］レイヤーを表示することができます。

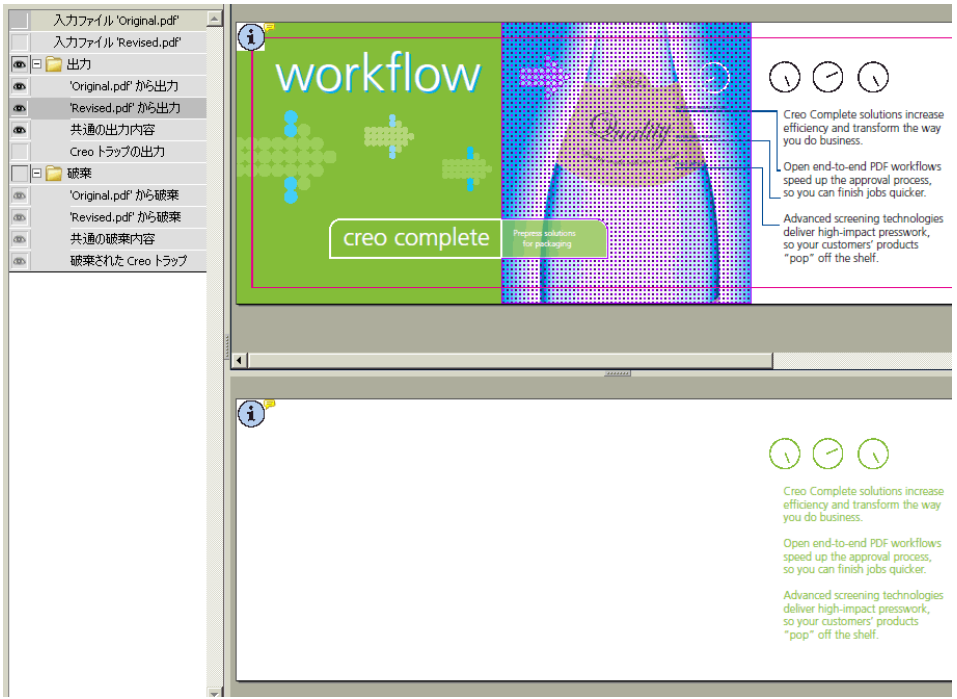


図 16：分割された画面に表示された［出力］レイヤーと［破棄］レイヤー

［**出力**］レイヤーでオブジェクトを選択して破棄すると、レイヤーの表示／非表示を切り替えなくても、その結果は［**破棄**］レイヤーにただちに表示できます。たとえば、図 16 の上の画面には、［**出力**］レイヤーで選択されたオブジェクトが表示されています。図 17 では、［**破棄**］レイヤーの破棄されたオブジェクトが下の画面に表示されています。最初に破棄されたオブジェクトが表示されていた上の画面では、その部分は空になっています。

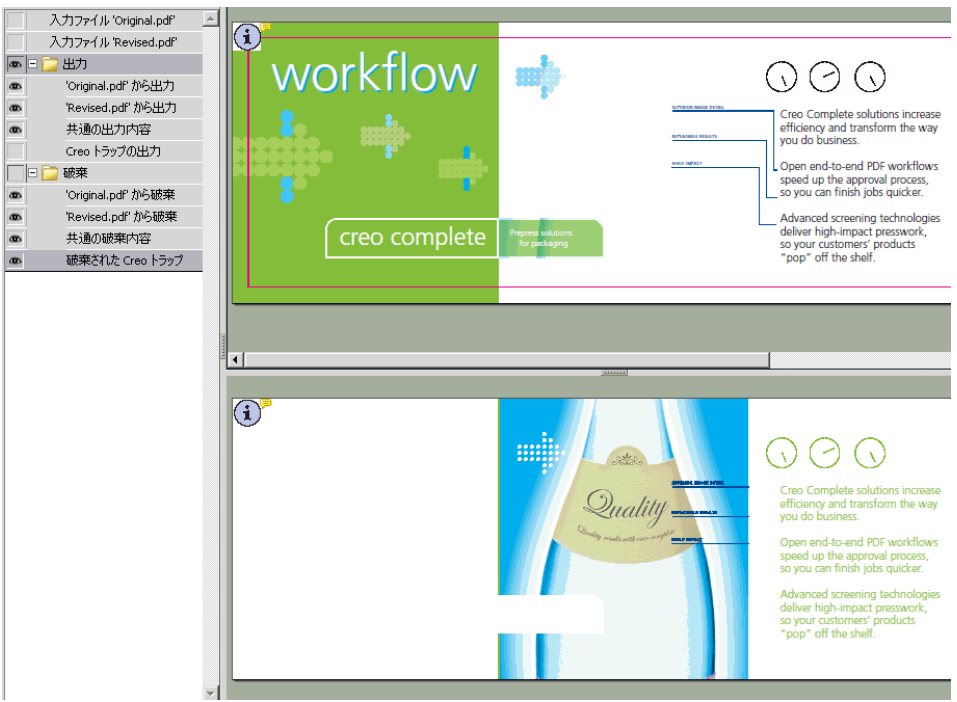


図 17：［出力］レイヤーから［破棄］レイヤーに移動された破棄済みオブジェクト

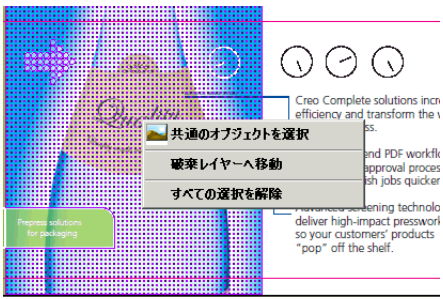
オブジェクトの選択

14 ページの「マージ結果の修正」に記述されているように、オブジェクトを破棄または取得するには、まずそのオブジェクトを選択する必要があります。場合によっては、目的のオブジェクトをクリックするだけで、選択できます。ただし、選択の方法として次の機能も知っておくと便利です。

- 複数のオブジェクトを選択するには、次のいずれかの操作を行います。
  - SHIFT キーを押しながら各オブジェクトをクリックします。
  - マウス ボタンを押したまま、選択するオブジェクト上をマウスでドラッグします。この方法は、マーキーによる選択とも呼ばれます。オブジェクトを含めるには、オブジェクトを選択マーキーで完全に囲む必要があります。

    複数のオブジェクトを選択した後でも、SHIFT キーを押しながら任意のオブジェクト上をマウスでドラッグして、既存の選択にオブジェクトを追加することができます。
- 選択したオブジェクトのグループからオブジェクトを 1 つ選択解除するには、次のいずれかの操作を行います。
  - SHIFT キーを押しながら、選択したオブジェクトをクリックします。
  - SHIFT キーを押しながらマウス ボタンを押し、マウスをドラッグして選択解除するオブジェクト全体をマーキーで囲みます。もともとマーキー選択されていた他のオブジェクトはすべて選択されたまま残ります。
- オブジェクトのグループを選択解除するには、選択した範囲の外をクリックするか、選択したオブジェクトを右クリック（Macintosh の場合は CONTROL キーを押しながらクリック）し、［**すべての選択を解除**］を選択します。

- 選択したオブジェクトを右クリック（Macintosh の場合は CONTROL + クリック）すると、表示されるメニューに、オブジェクトが両方のファイルに共通か、いずれかのファイルに固有かが示されます。



選択したオブジェクトは
両方のファイルに共通



選択したオブジェクトは
ファイル Revised.pdf に固有

図 18：選択された共通オブジェクトと固有オブジェクト

- レイヤーでオブジェクトを選択し、そのレイヤーを非表示にすると、選択したオブジェクトも表示されなくなります。レイヤーをもう一度表示すると、オブジェクトは選択されていない状態になります。また、非表示のレイヤー上のオブジェクトを選択することはできません。

- ［**入力 '<originalfile>.pdf'**］レイヤーまたは［**入力 '<revisedfile>.pdf'**］レイヤーでは、選択したオブジェクトを破棄または取得しても、［**入力 '<originalfile>.pdf'**］レイヤーまたは［**入力 '<revisedfile>.pdf'**］レイヤーから、そのオブジェクトは消えません。このため、オブジェクトがマージ ファイルに含まれているか破棄されたかにかかわらず、すべてのオブジェクトを指定された入力ファイルで同時に確認できます。［**出力**］サブレイヤーと［**破棄**］サブレイヤーは、すべての破棄済みおよび取得済みオブジェクトの現在の状態を反映して、順次更新されます。

- 同じ範囲の他のオブジェクトの上に重ねられたオブジェクトのうち 1 つを選択するには、選択するオブジェクトが含まれている範囲を右クリック（Macintosh の場合は CONTROL キーを押しながらクリック）します。表示されるメニューには、その範囲の重なったオブジェクトの一覧が表示され、各オブジェクトを識別するためのアイコンがカラーで表示されます。



図 19：重なった複数のオブジェクト

一覧から目的のオブジェクトを選択し、14 ページの「マージ結果の修正」に記述されている手順で取得または破棄を行います。

この方法は、たとえばニス効果などが他のすべてのオブジェクトに適用されている場合などに便利です。

選択できるオブジェクトの種類を示すアイコンには、次のものがあります。

 **画像**

 **マスク画像（1-bit 画像）**

 **テキスト**

 **ストローク**

 **塗りつぶしパス**

 **グラデーション**

トラップの取得および破棄に関する注意

保存済みオブジェクトに設定されたトラップがある場合、そのトラップは［**Creo トラップの出力**］サブレイヤーに表示されます。破棄済みオブジェクトに設定されたトラップがある場合、そのトラップは［**破棄された Creo トラップ**］サブレイヤーに表示されます。オブジェクトとそのトラップを破棄または取得する場合、トラップも自動的に破棄または取得されます。設定されたトラップを破棄または取得せずに、オブジェクトを破棄または取得することはできません。

また、トラップのみを選択することはできません。トラップを選択するには、［**出力**］サブレイヤーまたは［**破棄**］サブレイヤーのいずれかで、トラップが設定されたオブジェクトを選択する必要があります。このため、トラップが設定されたオブジェクトを保持している場合、そのトラップのみを破棄することはできません。また、そのオブジェクトを取得せずに、トラップのみを取得することはできません。

マージ結果の保存

マージ ファイルを修正して、保持するオブジェクトを保存し、保持しないオブジェクトを破棄したら、［**出力**］レイヤーとそのサブレイヤーの内容をすべて含む最終 PDF ファイルを保存できます。

1. ［**マージした内容の出力**］をクリックします。

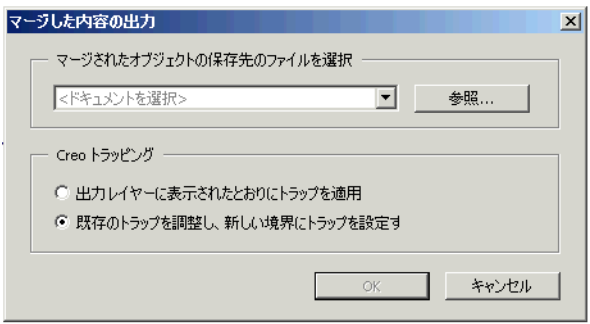


図 20：［マージした内容の出力］ダイアログ ボックス

4 ページの「PDF ファイルのマージ」で最初にマージ ファイルを作成した際に、1 つの PDF ファイルが Adobe Acrobat で開かれていた場合、［**マージされたオブジェクトの保存先のファイルを選択**］ボックスには、その PDF ファイル名が自動的に設定されます。

最初にマージ ファイルを作成した際に複数の PDF ファイルを開いていた場合、そのファイルがすべて一覧に表示されますが、選択されているファイルはありません。

2. 次のいずれかの操作を行います。

   - マージした結果を、開いている PDF ファイルのいずれかに保存するには、[**マージされたオブジェクトの保存先のファイルを選択**] 一覧から目的のファイルを選択します。
   - マージした結果を、Adobe Acrobat で開いていない既存の PDF ファイルに保存するには、[**参照**] をクリックして目的のファイルを探して選択します。

     [**マージされたオブジェクトの保存先のファイルを選択**] ボックスにファイル名が表示されます。
   - [**出力**] レイヤーとそのサブレイヤーの内容すべてを含む、新しい PDF ファイルを作成するには、[**参照**] をクリックして、新しい PDF ファイルの保存場所とファイル名を選択します。

     [**マージされたオブジェクトの保存先のファイルを選択**] ボックスに、新しいファイル名が表示されます。

3. マージの際に、他のオブジェクトに重なったオブジェクトを破棄した場合、破棄したオブジェクトがあった位置の、残ったオブジェクトに対するトラップ部分が欠けてしまう場合があります。たとえば、図 21 では黄色の正方形がマゼンタの円に重なっています。円を破棄すると、正方形の周囲のトラップで円があった部分が欠けています。

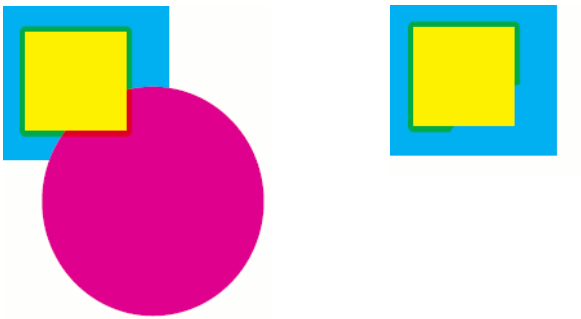


図 21：重なったオブジェクトが破棄された際にトラップが欠けた状態

欠けたトラップ部分を PDF Merge ですべて修正し、トラップがまだ設定されていないオブジェクトにトラップを追加するには、［**Creo トラッピング**］領域で、［**既存のトラップを調整し、新しい境界にトラップを設定する**］を選択します。

既存のトラップをすべてそのままにし、新しいトラップを適用しない場合は、［**出力レイヤーに表示されたとおりにトラップを適用**］を選択します。

［**既存のトラップを調整し、新しい境界にトラップを設定する**］オプションを使用してトラップを適用するには、Creo Trap Editor のライセンスが必要です。

Creo PDF Trap Editor でトラップが欠けた部分を修正して新しいトラップを適用する場合、元の PDF ファイルのトラップ設定を使用します。ただし、元の PDF ファイルにトラップがなく、修正後の PDF ファイルにトラップが含まれる場合を除きます。この場合は、Trap Editor では修正後のファイルのトラップ設定が使用されます。

4. **[OK]** をクリックします。

［出力メッセージをマージ］ダイアログ ボックスに、すべての保存済みトラップ、変更済みトラップ、および作成済みトラップなど、最終マージの結果が表示されます。

手順 2 で行った操作に応じて、既存の PDF ファイルが更新されるか、新しい PDF ファイルが作成され、ファイルが自動的に Adobe Acrobat で開きます。Adobe Acrobat で開いている既存の PDF ファイルに変更を加えることを選択した場合、PDF Merge は自動的にファイルに変更を加えますが、Adobe Acrobat の［**ファイル**］>［**保存**］メニュー項目を使用して、変更を保存する必要があります。

一時マージ ファイルは、閉じるまで Adobe Acrobat で開いたままになっています。一時ファイルを保存せずに閉じて破棄することも（[**ファイル**］>［**閉じる**]）、作業中のファイルとして保存することも（[**ファイル**］>［**名前を付けて保存**]）できます。

情報およびエラー メッセージについて

PDF Merge がマージ プロセスを完了し、一時マージ ファイルを生成したら、マージ ファイルが Adobe Acrobat ウィンドウに表示されます。ファイルの左上隅には、**情報**（）、**警告**（）、または**エラー**（）アイコンが表示されます。



ヒント：情報アイコンが表示されていない場合、Adobe Acrobat で注釈が非表示になっている可能性があります。注釈を表示するには、［**表示**］>［**注釈**］>［**すべての注釈を表示**］を順に選択します。

情報アイコンは、マージが正常に完了し、問題が発生しなかった場合に表示されます。**警告**アイコンは、マージで問題が発生した状態で処理を完了した場合に表示されます。**エラー**アイコンは、マージで問題が発生し、処理を完了できなかった場合に表示されます。

情報メッセージ

情報アイコンをクリックすると、マージされた各 PDF ファイルに関する詳細を表示するダイアログ ボックスが開きます。（**情報**アイコンをクリックしてダイアログ ボックスを開くには、あらかじめ Adobe Acrobat の**手のひら**ツールを選択している必要があります。）ダイアログ ボックスには、次の情報が含まれています。

- 保存済みオブジェクト数—両方の PDF ファイルに共通のオブジェクト、および修正後の PDF ファイルのみに存在するオブジェクト
- 破棄済みオブジェクト数—元の PDF ファイルのみに存在するオブジェクト
- 保存済みトラップ数—両方のファイルに共通のオブジェクトに設定されたトラップ
- 破棄済みトラップ数—元の PDF ファイルのみに存在するオブジェクトに設定されたトラップ

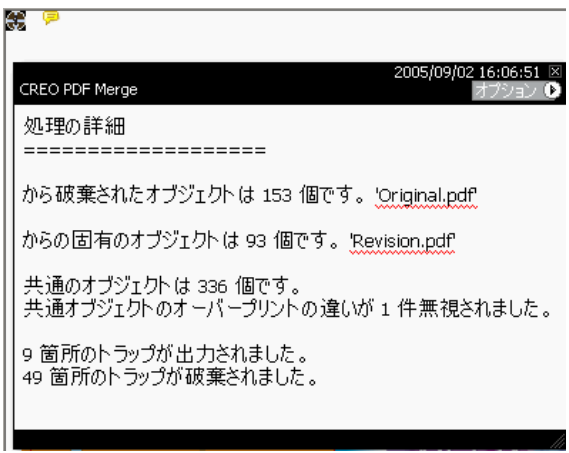


図 22：[処理の詳細] ダイアログ ボックス

ダイアログ ボックスには、「共通オブジェクトのオーバープリントの違いが 〈number〉 件無視されました。**」というメッセージが表示される場合もあります。これは、両方のファイルで 1 つまたは複数の共通オブジェクトが検出され、2 つのファイルの違いが、一方ではオブジェクトがオーバープリントに設定され、もう一方ではノックアウトに設定されていることのみであることを示します。この場合、PDF Merge は元のファイルの設定が正しいものとし、［**共通の出力内容**］レイヤーのオブジェクトと共にその設定を保存します。

最初のマージのエラー メッセージ

最初のマージで問題が発生した場合、次のいずれかのメッセージが表示される場合があります。

エラー メッセージ	考えられる原因
マージするファイルとマージ対象のファイルが同じです。それぞれに異なるファイルを選択してください。	同じファイルを 2 度選択しました。2 つの異なるファイルを選択するように変更してください。
PDF Merge が次のドキュメントを処理している間に予期しないエラーが発生しました: ページのメディア ボックスが異なります。	マージするために選択した 2 つの PDF ファイルのメディア サイズが異なります。PDF Merge はメディア サイズが同じドキュメントのみをマージできます。 メディア サイズが同じファイルを 2 つ選択してください。

エラー メッセージ	考えられる原因
PDF Merge は、次の出力ドキュメントを保存する一時ファイルの作成に失敗しました。	ワークステーションに、一時マージ ファイルを生成するためのメモリが不足しているか、使用可能なディスク領域が不足している可能性があります。 ワークステーションのメモリの一部を解放するか、ディスク領域を空けて、もう一度マージしてください。
次のファイルを開いている間にエラーが発生しました: <ファイル名>	エラー メッセージに表示されているファイルが壊れているか、ロックされているか、または既に使用されています。または、選択したファイルが PDF ファイルでない可能性があります。PDF Merge では、PDF と PDF のみを比較できます。
選択された入力ドキュメントのページ数が一致しません。	マージするために選択した 2 つの PDF ファイルの出力ページ数が異なります。 出力ページ数が同じファイルを 2 つ選択してください。

エラー メッセージ	考えられる原因
PDF Merge は、選択された入力ドキュメントの色版を一致させることができませんでした。	分版された 2 つの PDF ファイルをマージする場合に、色版の順序が 2 つのファイルで一致していない可能性があります。この場合、PDF Merge は 2 つのファイルをマージできません。 または、一方のファイルが分版された PDF で、もう一方のファイルがコンポジット PDF である可能性があります。PDF Merge が比較してマージできるのは、両方とも分版ファイルであるか、両方ともコンポジット ファイルである場合のみです。
PDF Merge が次のドキュメントを処理している間に予期しないエラーが発生しました: Failed to load the required CMap <ファイル名> for CID font <フォント名>: Failed to locate CMAP <ファイル名> on resource search path: フォント検索パス	フォントが正しくインストールされていない、Adobe Acrobat フォルダから削除されている、または権限の設定により必要なファイルが読み取れない可能性があります。 必要なフォント（エラー メッセージの <ファイル名> により表示）をインストールするか、必要なファイルの権限を変更して、ファイルを読み取れるようにします。
選択項目のレンダリング中または描画中に内部エラーが発生しました。	ワークステーションに、一時マージ ファイルを生成するためのメモリが不足しているか、使用可能なディスク領域が不足している可能性があります。 ワークステーションのメモリの一部を解放するか、ディスク領域を空けて、もう一度マージしてください。

エラー メッセージ	考えられる原因
使用できる PDF Merge のライセンスはありません。	お使いのサーバーのいずれにも PDF Merge のライセンスがインストールされていないか、プライマリ サーバーで License Manager が実行されていないか、ネットワーク ケーブルがワークステーションから外れているか正しく動作していない可能性があります。
このプラグインを使用するライセンスがなくなりました。	マージ中にサーバーへ接続できなくなった可能性があります。 プライマリ サーバーでライセンス マネージャーが実行され、ネットワーク ケーブルがワークステーションに接続され、正しく動作していることをチェックしてください。
トラップの調整および新しい境界にトラップを設定するには Creo PDF Trapper のライセンスが必要ですが、ライセンスがありません。トラップを変更せずに出力ドキュメントを作成しますか？	お使いのサーバーのいずれにも Creo Trap Editor のライセンスがインストールされていないか、プライマリ サーバーでライセンス マネージャーが実行されていないか、ネットワーク ケーブルがワークステーションから外れているか正しく動作していない可能性があります。

エラー メッセージ	考えられる原因
ファイル '<ファイル名>' には、マージ後に問題が生じる可能性のある Heidelberg トラップが含まれています。続行しますか？	Heidelberg Trap Editor で作成されたトラップがファイルに含まれています。 続行すると、ファイル内のすべての Heidelberg トラップ オブジェクトは通常のオブジェクトに変換され、トラップとしては表示されなくなります。変換後のトラップを Heidelberg Trap Editor で編集することはできません。
どちらの入力ファイルにも、マージ後に問題が生じる可能性のある Heidelberg トラップが含まれています。続行しますか？	Heidelberg Trap Editor で作成されたトラップがファイルに含まれています。 続行すると、ファイル内のすべての Heidelberg トラップ オブジェクトは通常のオブジェクトに変換され、トラップとしては表示されなくなります。変換後のトラップを Heidelberg Trap Editor で編集することはできません。

マージ プロセス完了後のエラー メッセージ

PDF Merge がマージを完了し、一時マージ ファイルを生成したら、マージ ファイルが Adobe Acrobat ウィンドウに表示されます。32 ページ に記述されているように、ファイルの左上隅には、**情報**（）、**警告**（）、または**エラー**（）アイコンが表示されます。

情報アイコンではなく**警告**アイコンまたは**エラー** アイコンが表示されている場合、ダイアログ ボックスが自動的に開き、次のいずれかまたは複数のエラー メッセージが表示されます。

警告またはエラー メッセージ	詳細
入力ファイルは異なるインキで出力されます。	一方のファイルに、もう一方のファイルには含まれていないカラーが含まれています。
入力ファイルは異なるパターンでトラップされています。	パターンが異なるため、2 つのファイルで異なるトラップが作成されました。元のファイルと修正後のファイルのトラップのグループが異なる可能性があります。
入力ファイルには異なるテキスト グループが設定されています。	テキスト グループが異なるため、2 つのファイルで異なるトラップが作成されました。元のファイルと修正後のファイルのトラップのグループが異なる可能性があります。

警告またはエラー メッセージ	詳細
マージにより '<ファイル名>' からの Heidelberg トラップが含まれます。	指定されたファイルに含まれるトラップは Heidelberg Trap Editor により作成されました。マージすると、PDF Merge はすべての Heidelberg トラップを通常のオブジェクトに変換します。変換後はトラップとしては表示されなくなり、Heidelberg Trap Editor で編集することはできません。 また、トラップが通常のオブジェクトに変換されると、もともとトラップが設定されていたオブジェクトとの関連はなくなり、［**Creo トラップの出力**］サブレイヤーではなく、オブジェクト サブレイヤーのいずれかに表示されます。トラップがもともと設定されていたオブジェクトを破棄しても、トラップは［**出力**］サブレイヤーに残り、自動的には破棄されません。
メディア ボックスが異なるページはマージできません。	2 つの PDF ファイルのページ サイズが異なっています。PDF Merge では、2 つのファイルのメディア ボックスのサイズが同じ場合のみ、比較できます。
ページのマージに必要なメモリが不足しています。	ワークステーションに、一時マージファイルを生成するためのメモリが不足しています。 ワークステーションのメモリの一部を解放し、もう一度マージしてください。

索引

C

［Creo Merge ドキュメント］ダイアログ ボックス 6
［Creo トラップの出力］サブレイヤー 27

P

PDF Merge
- 概要 1
- 制限 1
- ツールバー、表示する 2
- ツールバー ボタン 3

PDF Merge の制限 1
PDF Merge の制約 1
PDF ファイル
- 同一の比較 12
- マージするファイルの選択 6

［Prinergy PDF Merge ライセンス］ダイアログ ボックス
- 現在のユーザーの表示 5
- サーバーの選択 4
- 使用可能なライセンスの表示 5

あ

アイコン
- エラー 32
- 重なったオブジェクト メニュー 25
- 警告 32
- 情報 32
- 目 12

い

［色の選択］ツールバー ボタン 15

え

エラー アイコン、概要 32
エラー メッセージ
- 概要 32
- 最初のマージ 34
- マージ後 39

お

オーバープリントの違いメッセージ、説明 34
オブジェクト
- 色の変更 15
- 重なったオブジェクトから選択 25
- 重なり 29
- 共通または固有を識別 24
- 取得、［入力］レイヤーの使用 24
- 選択 23
- トラッピング 30
- 破棄、［入力］レイヤーの使用 24
- 破棄済み、概要の表示 13
- 破棄済みオブジェクトの表示 10
- 破棄済みの取得 14
- 非表示レイヤーで選択 24
- 複数のオブジェクトの選択 23
- 保存済み、概要の表示 13
- 保存済みオブジェクトの表示 8
- 保存済みおよび破棄済みの概要 13
- 保存済みを破棄 17

オブジェクトのトラッピング 30

か

重なったオブジェクト 29
重なったオブジェクト、オブジェクトの選択 25

け

警告アイコン、概要 32
警告メッセージ、マージ後 39

こ

固有のオブジェクト、定義 8

さ

サブレイヤー
- オン/オフの切り替え 12
- 空 12
- 内容を含む 12

し

[出力メッセージをマージ] ダイアログ ボックス 31
[出力] レイヤー
- オブジェクトを破棄 17
- 概要 8
- サブレイヤーの説明 8

取得と破棄の変更を元に戻す 20
[処理の詳細] ダイアログ ボックス
- エラー メッセージ 39
- 情報メッセージ 34
- 開く 13, 33

処理の詳細、表示 13, 33
[情報] アイコン
- 概要 13
- 保存済みおよび破棄済みオブジェクトの概要 13

情報アイコン
- 概要 32
- 表示 32

情報メッセージ
- 解釈 34
- 概要 32
- 表示 33

せ

選択されたオブジェクト、表示 15

た

ダイアログ ボックス
- Creo Merge ドキュメント 6
- Prinergy PDF Merge ライセンス 4
- 出力メッセージをマージ 31
- マージした内容の出力 28

つ

ツールバー
- 表示する 2
- ボタン 3

ツールバー ボタン
- 色の選択 15
- 出力レイヤーへ移動 16

破棄レイヤーへ移動 18
元に戻す 20
やり直し 20

と

トラップ
新しいトラップを適用する際に使用される設定 30
取得 27
選択 27
破棄 27
破棄済みオブジェクトにより欠けた部分の修正 29
トラップの取得 27
トラップの破棄 27
同一ファイル、比較 12

に

［入力］レイヤー
概要 12
破棄および取得 24

は

［破棄された Creo トラップ］サブレイヤー 27
破棄済みオブジェクト
概要の表示 13
取得 14
選択して取得 23
［入力］レイヤーを使用した取得 24
表示 10
破棄済みオブジェクトの取得 14
［破棄］レイヤー
オブジェクトの取得 14
概要 10
サブレイヤーの説明 10

ふ

ファイル。PDF ファイルを参照
複数のオブジェクト、選択 23
複数のオブジェクトの選択 23

ほ

保存済みオブジェクト
概要の表示 13
選択して破棄 23
［入力］レイヤーを使用した破棄 24
表示 8
保存済みオブジェクト、破棄 17
保存済みオブジェクトの破棄 17

ま

マージ結果、修正 14
マージ結果の修正 14
マージ結果の表示 7
マージ結果の保存 28
［マージした内容の出力］ダイアログボックス 28
マージの開始 4
マージ ファイル
概要 7
レイヤー 8

マージ プロセス
開始 4
結果の修正 14
結果の表示 7
結果の保存 28
マージするファイルの選択 6

め

メッセージ
エラー
最初のマージ 34
マージ後 39
警告、マージ後 39
情報
解釈 34
表示 33

も

[元に戻す] ツールバー ボタン 20

や

[やり直し] ツールバー ボタン 20

ら

ライセンス
現在のユーザーの表示 5
サーバーの選択 4
使用可能数の表示 5

れ

レイヤー
Creo トラップの出力 27
オン/オフの切り替え 12
空 12
出力
オブジェクトを破棄 17
概要 8
内容を含む 12
破棄
オブジェクトの取得 14
概要 10
破棄された Creo トラップ 27